

Vol.99 | 2025.2

群馬県がん患者団体連絡協議会

Newsletter



編集・発行 / 公益財団法人群馬県健康づくり財団



上映会・茶話会終了後、記念撮影にご協力いただきました！



1. がん患者ミーティングの開催

2月1日（土）、（公財）群馬県健康づくり財団との共催により、群馬県県民健康科学大学にて『群馬県がん患者ミーティング2025』を開催しました。第1部は、初めての試みとして、27歳でステージ4の舌がんと診断された方のドキュメンタリー映画上映会を行いました。

参加者の方からは、「がんになっても精一杯生きていけるサポートが整う、そんな世の中になってくれるといいなと思った。」「違いかたちでもまっすぐに生きている人たちに感動しました。」「あたりまえで忘れがちな日々の小さな幸せを大事にしたいと思いました。」などの声をいただきました。

11A ▶ 12

ケアを紡いで

(C) 大宮映像製作所

2025.2.1 (土) 12:30 開場

入場：無料 (先着100名様・お申込みはコチラから→
または027-269-7820までお電話ください)

会場：群馬県立県民健康科学大学 大講義室(前橋市上沖#T323-1)

11A ▶ 12

深く考えさせられ、心に響く映画でした。



広くて素敵な会場を県民健康科学大学にお借りしました。



第2部では、交流茶話会を行いました。サバイバー、ケアギバー、初めて参加いただく方もいらっしゃり、お茶とお菓子を楽しみつつご交流いただきました。あっという間のひと時でした。

ご参加・ご協力いただき、ありがとうございました！
以下、映画の感想の一部抜粋です。

- ・自分らしさと個性、根底にある希望欲望を表に出せる様、サポートしていきたい。帰る場所、居場所が暮らす場所よりも大切なのもかもしれない、と改めて感じました。
- ・がん患者さんの日常の大変さ、辛さを映像から知ることができ、日常から発せられるがん患者さんの声は心に響きます。ゆずなさんの生き方や考え方は健常者の私たちの力にもなると思います。
- ・考えさせられ、もどかしさを感じ、国の支援方法や余分な支援を無くし、本当に必要なところに...と感じました。
- ・いろいろな障害をもつ方々を地域で支えていく大切さ、改めて感じました。
- ・がん治療は1人でかかえこまないで、周りの人達に助けを求めたりすることも大事で、それを踏まえた良い話だったと思います。ありがとうございます。
- ・病気になって「自分しか見えていなかった」と出てきた言葉が自分にもひびいた。自分だけじゃなくて色々な病気で色々な症状の人がいて、一人ではないし、言葉で伝えても、行動しても、甘えても、支えることも、できると思った。観れてとてもよかったです。
- ・あっという間の90分でした。改めて「がん」の怖さを再確認しました。ゆずなさんの「治療は有限である」という言葉がとても強烈に残り、早期発見の大切さを感じました。また、がんだけでなく他の病気も含め、病気で日常が送れなくなってしまったとき、どんな支援の方法があるのか、自分が支える側としてどんなことができるのか、日ごろから考えていきたいです。

今後のがん患者ミーティングについてご意見があれば事務局までご連絡ください。

2. がん連協年会費納入のお願い

各患者会にお願いしている年会費につきまして、今年度まだ納入していただけていない会に再度お願いしているところです。会の会計を持たないなど会費の納入が不可能な場合には、会費免除申請を事務局にご提出いただくよう、お願い申し上げます。ご協力お願いいたします。

各会の活動紹介や近況報告など、ニュースレターに掲載したい情報をお持ちの方は事務局までご連絡ください。（紙面と発行日の都合で掲載することができない場合もあります。）

